

2014 年度 企業リスクマネジメント研究会 総括

2015年4月23日

JUAS

企業リスクマネジメント研究会

概要と歴史

JUAS活動

政策企画委員会

政策研究・調査

- ・IT経営協議会 (CIO戦略フォーラム)
- ・IT経営調査
- ・IT融合フォーラム
- ・CIO育成カリキュラム
- ・重要インフラの信頼性
- ・IT投資可視化

調査事業

- ・企業IT動向調査
- ・ソフトウェアメトリックス

組織力強化普及・調査

- UISSセンター—
- ・情報システムユーザースキル標準
- ・IT人材モデルキャリア開発

セキュリティ・センター

- ・プライバシーマーク
審査・認証

会員活動

フォーラム

- ・CIOフォーラム (3)
- ・部門経営フォーラム (5)
- ・IT企業TOPフォーラム (3)
- ・ITグループ会社経営フォーラム (3)
- ・IT部門経営フォーラム関西
- ・IT企業TOPフォーラム関西
- ・ITグループ会社経営フォーラム関西
- ・関西ミドルマネジメントフォーラム

研究会

テーマ型研究会

- ITインフラ研究会
- ITサービスマネジメント研究会
- 企業リスクマネジメント研究会
- ビジネスプロセス研究会
- データマネジメント研究会
- 組織力強化研究会
- IT人材キャリア形成研究会

ケース型研究会

ケース研究会

ワークショップ型研究会

アドバンスト研究会

研究プロジェクト

- システム開発・保守QCD研究プロジェクト
- JIIP (Japan industry Innovation project)

イノベーション
経営カレッジ
(IMCJ)



教育研修事業

オープンセミナー

新人・配転者セミナー

オーダーメイド研修

教材開発・出版

海外研修・調査

JUASラボ

JUASソリューションラボ
JUASトレンドラボ

公開事業

サマースクエア
JUASスクエア
JUAS FUTURE ASPECT

会員研修会

JUASアカデミー
関西アカデミー

研究会の経緯と現在

企業リスク マネジメント 研究会

2009年度

2010年度

2011年度

- リスクマネジメントの研究(全体会中心の)

- 情報管理
- 法務
- BCP

- リスクマネジメントの研究

- 情報管理
- 法務
- BCP

- リスクマネジメントの研究

- 情報管理
- 法務
- BCP

- 震災後のリスクマネジメントの研究

- 情報管理
- BCP1、BCP2

- サイバー関連(全体会中心)

- BCP

情報セキュリ ティ研究会

2012年度

企業リスク マネジメント 研究会

2013年度

2014年度

- 企業リスクマネジメントの研究

- 情報セキュリティ
- 個人情報、スマホ
- BCP

2014年度の活動方針

研究会の目的は？

(1) 研究会概要・方針

企業を取り巻く環境が変化する中で、引き続き動向を捉えながら情報セキュリティ、個人情報保護、スマホ & SNS、クラウド、IT法務、コンプライアンス、事業継続(BCP)、(ID管理やポリシーの)グローバル化など企業におけるリスクマネジメントについて、研究・情報交換を行います。

そして

①情報交換・意見交換できる仲間・コミュニティを一緒に作りましょう！

②新しい情報・知識・考え方を持って帰りましょう！

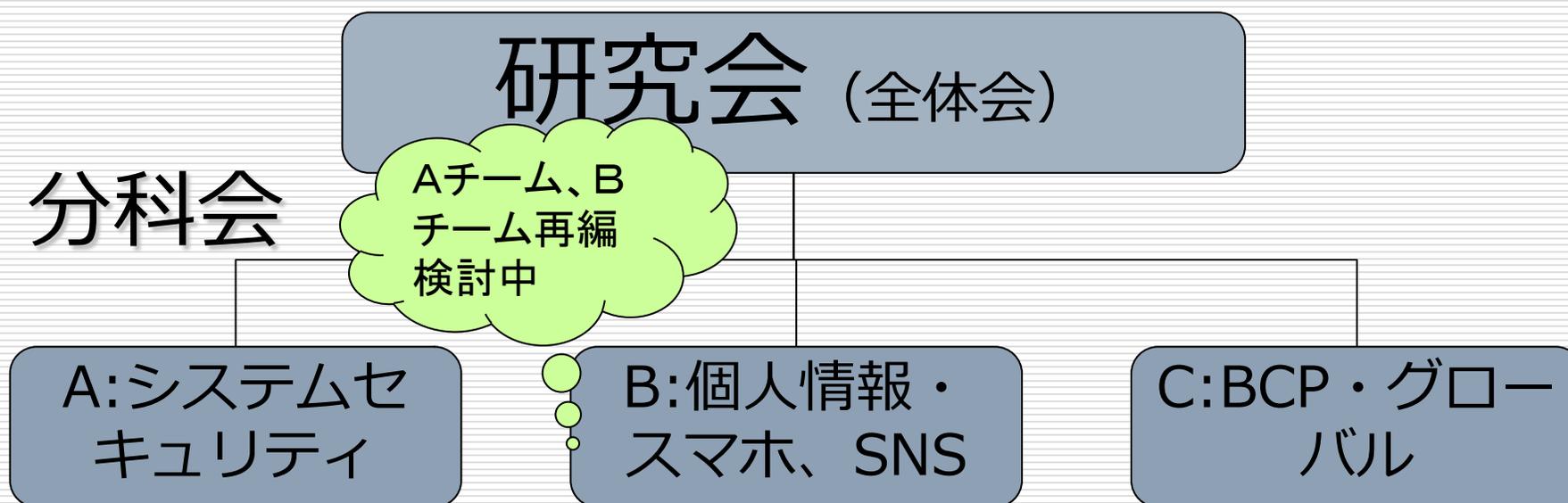
研究会価値の仮説を設定

- ① 個々人の知見・経験が貴重
- ② コミュニケーションの活性化で知見・経験の共有
- ③ 参加率が高まることで他参加者から得られる知見・経験が増加し、更に価値が高まる

実現のために2つ工夫

工夫1：分科会でコミュニケーションの距離を縮め、密度を上げる

皆さんの目的は、勉強・情報収集・営業
誰かが情報を知らぬ間に提供？
研究会はみなさん自身がコンテンツです！



研究会体制

部会長 (株)リクルートアドミニストレーション
副部会長 ガートナージャパン(株)

分科会 A : 情報セキュリティ

分科会長 (株)リコー
副会長 インテル(株)
顧問 日揮(株)

分科会 B : 個人情報保護 ▶ 情報セキュリティ 2 に改変

分科会長 東京ガス(株)
副会長 東日本旅客鉄道(株)

分科会 C : B C P

分科会長 (株)NEC情報システムズ
副会長 宝ネットワークシステム(株)
顧問 ガートナージャパン(株)

事務局 : JUAS

工夫2：参加のハードルを下げる、接点を増やす

仲良くなりましょう！

①懇親会で活躍！

②合宿で爆発！

③知見の循環と管理（笑）

研究会の目標とお願い（私案）

目標！

- 1：最終回2月、70%以上参加
- 2：5名くらい相談相手ができる

お願い！

継続メンバーの皆さん、是非、初参加メンバーの方々を仲間に！

2014年度の活動内容

2014年度研究会活動予定

	日時	会場	テーマ
第1回	5月26日(月) 16:00~19:30	JUAS★	キックオフ
第2回	8月1日(金) 8月2日(土)	筑波研修 センター	2日間
第3回	9月26日(金) 15:30~18:00	JUAS	CSIRT研究家 Aチーム
第4回	11月18日(火) 15:30~18:00	JUAS	Bチーム「各社のセキュリティ対策」15分x3 スマホアプリ・セキュリティの現状課題と解決策 ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ
第5回	1月16日(金) 15:30~18:00	JUAS	Cチーム「事業継続計画」 デロイトトーマツ リスクサービス株式会社
第6回	2月24日(火) 16:00~19:30	JUAS★	まとめ ★:情報交換会実施

合 宿

■企業リスクマネジメント研究会 1日目合宿スケジュール(予定)

第1日目(8/1)	分	会場	内 容	ご案内事項(ご注意)
12:30~	-		開場	<ul style="list-style-type: none"> ● 昼食は各自お召し上がりのうえ討議室(2階201)に集合してください。 【インターネット】 ● 討議室には無線LANのご用意はありません。(ご不便をおかけします。) ● 宿泊ホテルにはホテル専用無線LAN回線(無料)有り。(ID、PWはお部屋に案内があります。) ● エントランスロビーは無線LAN有り。(ID、PWは当日ご案内します。) 【自販機、売店、喫煙】 ● 会議場・ホテル館内に売店はありません。近くのコンビニ等をご利用ください。 ● 会議場各フロアに自販機があります。 ● 喫煙場所は1階にあります。 ● 討議室は21時に施錠いたします。翌朝まで入室できなくなります。 ● 資料は討議室に置いたままで結構ですが、PC等の貴重品はお持ちください。
13:00~13:15	15	201	集合、合宿スケジュール説明、施設の説明等(事務局)	
13:15~14:15	60	201	分科会Ⅰ ・分科会(検討テーマや活動のイメージ)	
14:15~15:15	60		分科会Ⅱ ・分科会	
15:15~15:30	15		=休憩=	
15:30~16:30	60	201	分科会Ⅲ ・分科会	
16:30~16:50	20		=休憩=(リーダーと幹事の打ち合わせ)	
16:50~17:50	50	201	全体会議Ⅰ<事例紹介> Aチーム テーマ:「インテルIT部門のセキュリティー戦略と取り組み」 講演:インテル株式会社	
17:50~18:00	10		夕食会場へ移動	
18:00~19:30	90	多目的ホール	夕食(立食ビュッフェスタイル、4研究会一緒に)	
19:30頃 ~20:50	80	201	懇親会	
20:50~21:00	10		あと片付け	

・講演内容、全体会議や分科会討議の順番、時間配分等は現在調整中であり、変更になる場合がありますのでご承知おきください。

■企業リスクマネジメント研究会 2日目合宿スケジュール(予定)

第2日目(8/2)	分	会場	内 容	ご案内事項(ご注意)
6:30～ or 7:00～	-	CASA(1階) or カメリア(2階)	朝食 ※「ご宿泊について」の頁をご覧ください。 チェックアウト	●ホテルで朝食をおとりになり、チェックアウトを済ませて、討議会場にお越しください。
8:30	-		開場 (討議室へ集合ください)	●朝食会場は混雑が予想されますので、お時間には十分余裕をお持ちください。
9:00～9:40	40	201	全体会議<事例紹介> Bチーム テーマ:「JR東日本におけるタブレット導入について」 講演:JR東日本	●チェックアウトは、討議室集合前に、各自、ホテルのフロントにてお願いします。 鍵をフロントにご返却下さい。個人精算があればお済ませください。
9:40～10:20	40	201	全体会議<事例紹介> Cチーム テーマ:「企業のグローバル化を進める際に考えるIAMとコーポレート・ガバナンス」 講演:ガートナー・ジャパン	●お荷物はホテルクロークにお預けになるか、討議室にお持ちください。
10:20～10:40	20		= 休憩 =	
10:40～11:40	60	201	分科会Ⅳ ・分科会活動方針確認、発表準備、発表集合(時間厳守でお願いいたします)	●12時からあと片付けに入ります。お時間のある方は少しだけお手伝い頂けると助かります。
11:40～12:00	20	201	総括、今後の予定、事務連絡	●昼食は各自でお願いします。
12:00			解散 2日間おつかれさまでした!	

講演内容、全体会議や分科会討議の順番、時間配分等は現在調整中であり、変更になる場合があります。ご承知おきください。

合宿での検討結果（筑波も良かったですが、軽井沢も好きです！）

①全体会のコンテンツ

- 専門家・ベンダーの講演
- 分科会から推薦で参加者の事例共有

②分科会のコンテンツ

- 各社の事例共有、ディスカッション
- 専門家からの詳細事例提供

③各分科会の活動スケジュール

- 全体会6回での不足分を独自に設定
- ※やり過ぎると業務影響ありに配慮

有識者の講演

講演： 山賀氏(CSIRT研究家)

「国内CSIRTの実際」

※質疑応答を含む 60分



松並 勝

講演:

スマホアプリ・セキュリティの現状課題と解決策

- ECサイトがスマホ対応Webアプリからネイティブアプリへ一気に移行しだした今、スマホアプリの自社開発／受託開発にセキュリティが重要な要件となってきました。しかしながらスマホアプリのセキュリティ対策は極めて遅れており、96%のAndroidアプリに脆弱性のリスクがあります。本セッションではAndroidアプリのセキュリティにおける現状課題と、その解決策について説明致します。

【プロフィール】

ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社

Chief Security Technology Officer 松並 勝

(日本スマートフォンセキュリティ協会 セキュアコーディンググループリーダー)

2000年に自身のWebサービスが踏み台被害に遭い、2001年からソフトウェア開発におけるセキュリティ確保をテーマに取り組む。代表的な成果物にIPA/ISEC「セキュア・プログラミング講座」(初版)、JSSEC「Androidアプリのセキュア設計・セキュアコーディングガイド」がある。約15名のセキュリティコンサルタントを擁するチームのリーダーとしてセキュリティサービスを社内外に展開している。



講演：

サイバーセキュリティ対応、我が社はどこまでやるべきなの？

サイバー攻撃の目的・手法が高度化かつ巧妙化するとともに、防御サービスを提供するベンダー企業側も、それに呼応するように新たな技術やソリューションで対応しています。

そのような中、企業におけるサイバー攻撃への対応・対策はどのように考えなければならないのでしょうか。

また、セキュリティベンダーにおいても、顧客へのセキュリティ提案は、画一的ではなく、企業の事業環境や情報のリスクレベルに応じ、最適な提案をすることが求められるのではないのでしょうか。

各企業における最適なセキュリティ対応方法を、考え方や事例を交え解説します。

【プロフィール】

デロイト トーマツ リスクサービス株式会社

代表取締役社長 丸山 満彦 氏

リスクマネジメント、コンプライアンス、情報セキュリティ、個人情報保護情報関連の監査及びコンサルティングに多数従事。

経済産業省の情報セキュリティ監査研究会、情報セキュリティ総合戦略策定委員会、個人情報保護法ガイドライン策定委員会、国土交通省、厚生労働省の情報セキュリティ関連の委員会等の委員、日本情報処理開発協会ISMS技術専門部会等の委員を歴任。

2012年3月末まで、内閣官房情報セキュリティセンター情報セキュリティ指導官。

報告 & ディスカッション:

「情報セキュリティマネジメント実態調査結果について」

奥村先生プロフィール

・東京大学公共政策大学院客員教授

(デジタル社会の行政 組織・社会のエンタープライズアーキテクチャ オープンガバメント)

・元経済産業省貿易経済協力局長

【経緯】

2014年7月、JUASと東大との関係から、当研究会と東大・奥村裕一教授の研究チームとコラボレーションの要請があり、部会長・副部会長・分科会リーダーにて、奥村教授らと打合せを行う。その結果、研究会として得られるものも多いと判断し、奥村教授の研究チームのアンケート調査に協力する。

研究チーム一員の銭谷健吾氏(東京大学情報理工系研究科協力研究員)

各社事例

講演：

「セキュリティセンタの機能概要と必要なスキル」

(ANAシステムズ)

※質疑応答を含む 40分

講演：

- 1、リクルート（Bチーム）
- 2、JR東日本（Bチーム）
- 3、JAL（Bチーム）

「各社のセキュリティ対策 —現状と課題—」

※質疑応答を含む 15分

分科会活動

研究会体制

部会長 (株)リクルートアドミニストレーション
副部会長 ガートナージャパン(株)

分科会 A : 情報セキュリティ

分科会長 (株)リコー
副会長 インテル(株)
顧問 日揮(株)

分科会 B : 個人情報保護 ▶ 情報セキュリティ 2 に改変

分科会長 東京ガス(株)
副会長 東日本旅客鉄道(株)

分科会 C : B C P

分科会長 (株)NEC情報システムズ
副会長 宝ネットワークシステム(株)
顧問 ガートナージャパン(株)

事務局 : JUAS

**2014年度
企業リスクマネジ
メント研究会**

分科会A

**2015年2月24日（最終回）
（株）リコー 経営革新本部**



検討希望テーマの確認(1)

日程	分科会	全体会	場所	内容
05/26(月)	-	16:00~	JUAS	全体会:自己紹介・分科会編成
06/16(月)	15:30~	-	JUAS 302	分科会:検討希望テーマの確認

検討希望テーマの確認(2)

サイバーアタック・標的型攻撃対策

内部ネットワークのセキュリティ

電子メールのセキュリティ

業務システムのセキュリティ

入退管理

ID管理・認証連携(フェデレーション)

IT資産管理

仮想化環境でのセキュリティ

海外拠点のセキュリティ

BYODにおけるセキュリティ

社員教育・規程・監査

ISMS、PCIDSS等認証取得

セキュリティインシデント対応、CSIRT

制御系・組込み系システムのセキュリティ

無線LANセキュリティ

セキュリティに関する情報収集

ウィルス感染対策

クライアントのセキュリティ

Webサイトのセキュリティ

サーバのセキュリティ

リモートアクセス時のセキュリティ

ログの管理分析

脆弱性管理、診断

クラウド利用時のセキュリティ

スマートデバイス利用時のセキュリティ

SNS利用時のセキュリティ

委託先(グループ内外、海外)のセキュリティ

データ、システムのバックアップ

セキュリティに関わる投資の意思決定

SOC立ち上げ運用

セキュリティ管理のアウトソーシング

WindowsXP継続利用時のセキュリティ維持

セキュリティ人材育成

成りすましの検知、防衛

機密文書管理

テーマ実施結果

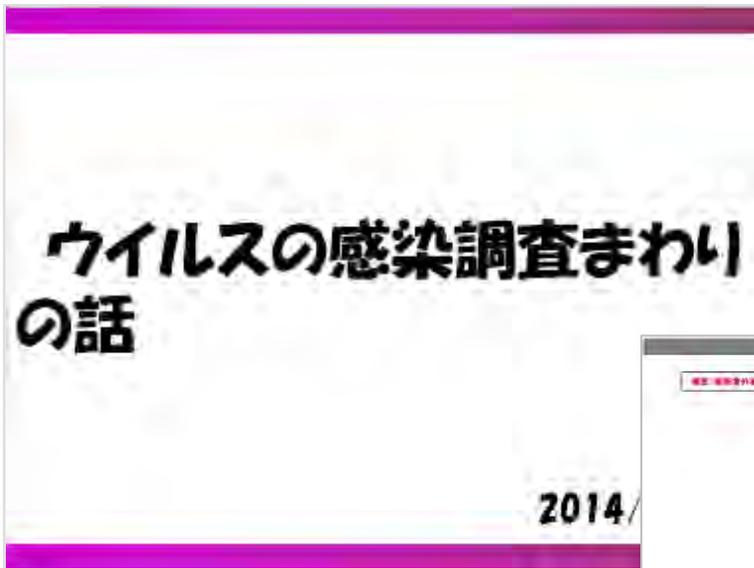
サイバーアタック・標的型攻撃対策	2回
セキュリティインシデント対応、CSIRT	1回
ログの管理分析	0回
海外拠点のセキュリティ	1回
スマートデバイス利用時のセキュリティ	1回
機密文書管理	1回
社員教育・規程・監査	2回

分科会A 活動結果（7月～9月）

日程	分科会	全体会	場所	内容
05/26(月)	-	16:00～	JUAS	全体会:自己紹介・分科会編成
06/16(月)	15:30～	-	JUAS 302	分科会:検討希望テーマの確認
07/10(木)	15:30～	-	JUAS 201	分科会:マルウェア対策事例（中電シーティーアイ） 分科会:マカフィーのソリューション事例（マカフィー）
08/01(金)	-	13:00～	つくば国際 会議場	分科会:サイバー攻撃対策（ANAシステムズ） 分科会:社員教育・規定・監査（各社事例） 全体会:IT部門のセキュリティ戦略と取組み（インテル）
08/02(土)	-	09:00～	つくば国際 会議場	全体会:タブレット導入について（JR東日本） 全体会:企業のグローバル化を進める際に、内部犯罪をどのように考えるべきか（ガートナージャパン）
09/26(金)	13:30～	15:30～	JUAS	分科会:スマートデバイスのセキュリティ対策について（JALインフォテック） 全体会:国内CSIRTの実際（NCA） 全体会:セキュリティセンタの機能概要と必要なスキル（ANAシステムズ）

分科会A 活動結果（7月～9月）

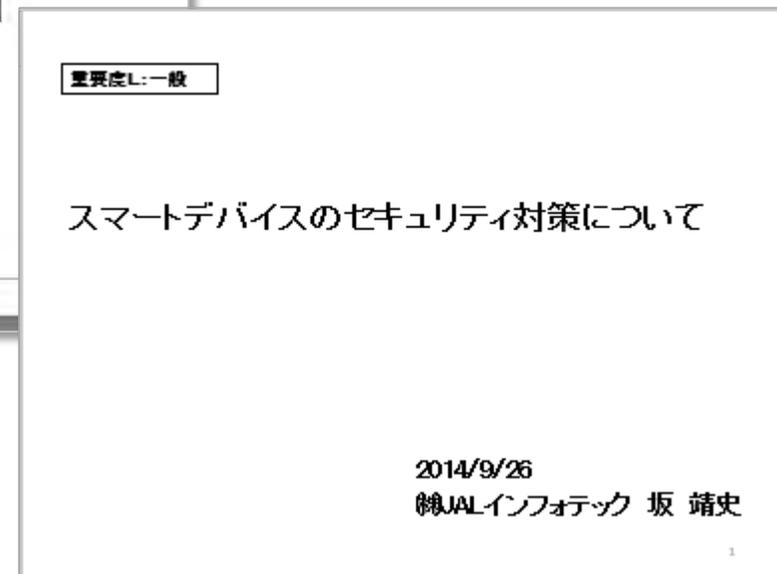
7月 マルウェア対策事例



8月 サイバー攻撃対策



9月 スマートデバイスのセキュリティ対策



分科会A 活動結果（10月～2月）

日程	分科会	全体会	場所	内容
10/15(水)	14:00～		ラック様 (永田町)	分科会:環境変化に適応する情報セキュリティ ～ 気づかなかったわけではなく見えなかったのです。～ (ラック 西本 様) 分科会:情報漏洩事件からみる組織が取り組むべきセキュリティ 対策(ラック 竹内 様) 分科会:JSOC見学(ご希望者)
11/18(火)	13:30～	15:30～	JUAS	分科会:ISO/IEC 27001:2013への移行対応(リコー) 全体会:各社のセキュリティ対策 全体会:スマホアプリ・セキュリティの現状課題と解決策 (ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ 松並 様)
12/17(水)	15:30～	-	JUAS	分科会:脆弱情報の収集方法(中電シーティーアイ) 忘年会: 少人数でちょっと寂しかったです・・・
01/16(金)	13:30～	15:30～	JUAS	分科会:機密文書管理(日揮) 全体会:事業継続計画の事例紹介(インフォテック) 全体会:サイバーセキュリティ対応、我が社はどこまでやるべきなの? (デロイトトーマツ リスクサービス)
02/24(火)	13:30～	15:30～	JUAS	分科会:中国のセキュリティ事情(NOK株式会社) 全体会:情報セキュリティマネジメント実態調査結果について (東京大学 奥村教授)

分科会A 活動結果（10月～12月）

10月 情報セキュリティ問題の背景や原因



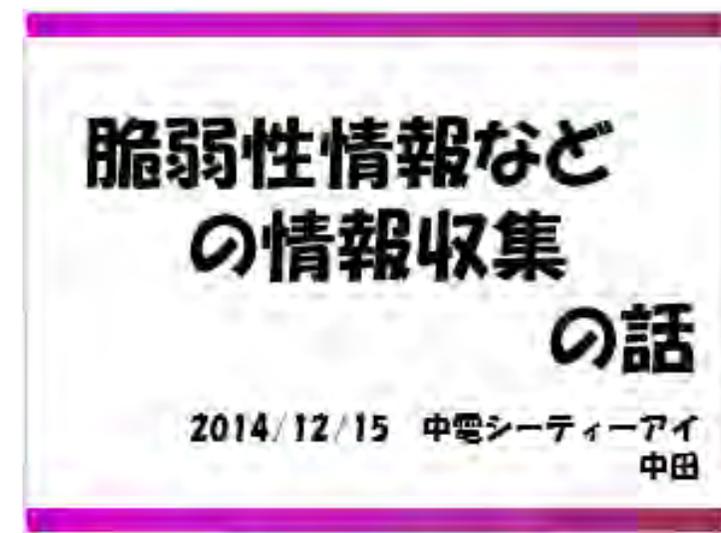
10月 情報漏洩事件の事例と対策のポイント



11月 ISO/IEC27001改訂対応事例



12月 情報セキュリティ関連情報の収集方法



分科会A 活動結果（1月～2月）

1月 JVにおけるセキュアな情報共有対策



2月 中国のセキュリティ事情

関係者外秘

中国法人での
情報セキュリティ推進

2015年2月24日

貴重な情報提供と活発な(?)意見交換ありがとうございました。

15年度の活動に向けて

15年度の活動に向けて(1)

研究会の運営など

- 話す人、発表する人が限定されている気がします。(ギブアンドテイクで…)
- 各社事例を持ち寄ってのディスカッション形式でしたが、自社も含め皆さんの実績が少ない印象があり活発な議論には至らなかった。
- 本年度は「BCP関連」と「情報セキュリティ」の2テーマで協議をしてきましたが、もし可能であれば来年度は「情報セキュリティ」をもう少し細分化して、「技術的(ハッキング手法の研究や、インシデント分析など)」な内容と「運用系(個人情報保護やISMS、監査などの運用)」に分けても良いかとも思います。
- 参加するだけでなくテーマについて研究し、何か成果物を出す、という活動の中で、必要な情報を収集していければ、と考えます。
- 様々な脆弱性や新たな攻撃手法が発見されたりと、増大していくと思われまますので、常に新しい情報を入れつつ、企業の垣根を越えて情報交換できる場合は、非常に有効と思います。
- 他研究会の発表内容がわかる仕組みだと情報入手という観点から有益だったと感じます。
- 平日でも問題ないと発言しましたが金曜日開催が有難いです。
- 要領のわからない時期の合宿より、少し議論が深まったあとの時期のほうが効果が期待できそうな気がします。

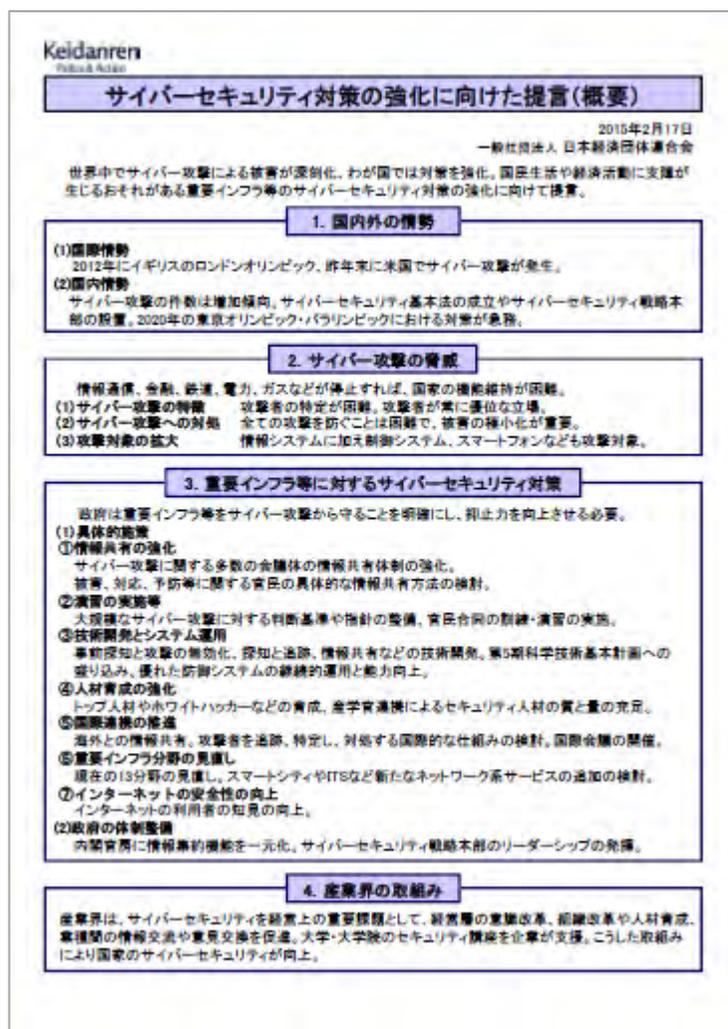
15年度の活動に向けて(2)

テーマについて

- 情報セキュリティに関してはここ数年ホットな話題であり、継続した方が良い
- マネジメント規格の認証取得の話(H26年度はISMSの取り組みを伺いました)
- インシデント対応体制の話(事故対応事例が付いているとさらに嬉しい)
- 従業員の監視関係のシステム(もしくは内部犯行への対策なんでも)
- 各社様の「マイナンバー制度」の対応が気になります

参考：サイバーセキュリティ対策の強化に向けた提言

2015年2月17日 一般社団法人 日本経済団体連合会



4. 産業界の取組み

サイバーセキュリティの確保は、重要インフラ関係企業だけでなく、全ての企業にとって、企業の信用の維持や、事業の継続に関わる重要な課題である。

また、守るべき対象が情報システムから制御システム、スマートフォン等の新しいデバイス、さらにはIoTへと拡大する状況に企業は対応する。

産業界は、サイバーセキュリティを技術上の問題だけではなく、経営上の重要課題として位置付け、経営層の意識改革を図る。

経営層の強力なリーダーシップのもと、CISO(Chief Information Security Officer:最高情報セキュリティ責任者)の設置など組織の改革や人材の育成などに努め、業種間の分野横断的な情報の交流や意見交換なども進める。

その際、各企業が緊急事態に対応するCSIRTを設置し、同業種の企業のCSIRTと連携を強化する。

人材育成については、企業と大学・大学院等が連携し、高度セキュリティ人材を育成するセキュリティ講座を全国に展開するため、企業が支援(寄付金、講師派遣、実践的なノウハウの提供、演習環境や場の提供など)する仕組みが2015年度に始まる。

出典: <https://www.keidanren.or.jp/policy/2015/017.html>

メンバー一覧（最後まで一緒に頑張りました）

氏名	会社名
	インテル株式会社
	日揮株式会社
	ANAシステムズ株式会社
	NOK株式会社
	株式会社トウ・ソリューションズ
	株式会社もしもしホットライン
	コープ情報システム株式会社
	富士ゼロックス情報システム株式会社
	新日鐵住金株式会社
	ヤマハ株式会社
	東洋インキSCホールディングス株式会社
	株式会社中電シーティーアイ
	株式会社NTTデータウェブ アフラック
	株式会社JALインフォテック
	スズキ株式会社
	株式会社小松製作所
	株式会社リコー

15年度の参加予定	人数
継続参加	4
メンバー交代	4
未定	6
不参加	0

よろしくお願ひします



**JUAS研究会 2014年度
企業リスクマネジメント研究会
分科会【B】
活動報告**

2015年2月24日 第6回 分科会B 資料

■分科会【B】 メンバー

	会社名	氏名		前年度
8	東京ガス株式会社		リーダー	○ B
37	東日本旅客鉄道株式会社		副リーダー	○ A
9	株式会社リクルートアドミニストレーション		顧問	○ B
1	中部電力株式会社			
5	JFEシステムズ株式会社			
6	鹿島建設株式会社			
10	東京海上日動システムズ株式会社			○ C
19	電源開発株式会社			
20	武田薬品工業株式会社			
28	石油資源開発株式会社			○ C
29	帝人株式会社			○ B
34	株式会社ジェーシービー			
36	パナソニック株式会社			
38	第一三共株式会社			
40	株式会社岡村製作所			
43	コニカミノルタ情報システム株式会社			
48	コベルコシステム株式会社			
50	JX日鉱日石エネルギー株式会社			

■分科会【B】 開催日程

	日程	分科会	研究会	場所	内容
第1回	5月26日	—	15:30～ 19:00	東京(JUAS)	挨拶、研究会・分科会の説明
(追加)	6月18日(水)	15:00～ 17:30	—	東京(JUAS)	仮 テーマ設定
第2回	8月1日(金)～ 2日(土)			つくば国際会議場 (合宿)	テーマ① テーマ②
第3回	9月26日(金)	13:30～ 15:30	15:30～ 18:00	東京(JUAS)	テーマ③
第4回	11月18日(水)	13:30～ 15:30	15:30～ 18:00	東京(JUAS)	テーマ④
第5回	1月16日(金)	13:30～ 15:30	15:30～ 18:00	東京(JUAS)	テーマ⑤
第6回	2月24日(火)	13:30～ 15:30	15:30～ 18:00	東京(JUAS)	まとめ

■分科会【B】 テーマ設定（アンケート）

	テーマ案	アンケートによる得票数
1	制御系システムに対するセキュリティ対策事例	4
2	グループ企業に対するセキュリティ対策	7
3	情報漏えい対策事例	8
4	セキュリティ教育事例	6
5	パーソナルデータの扱い方	1
6	個人情報保護法改正の行方	4
7	POマーク取得	0
8	スマホの利用事例	8
9	システムの安全対策事例	3
10	サイバー攻撃を受けた際の公開・説明責任対応事例	3
11	サイバー攻撃対応対策事例	2
12	脆弱性診断事例	2
13	政府機関等のサイバー攻撃対応政策	0
14	グローバル企業でのセキュリティ活動事例	5
15	社内の対応体制・組織(CSIRT)事例	6
16	標的型メール攻撃訓練事例	3
17	印刷物等の紙媒体に関するセキュリティ対策	0
18	クラウド利用事例()	3
19	その他(マイナンバー)	1

■分科会【B】 テーマの検討

	テーマ	検討内容
①	グループ企業に対するセキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ共通ポリシーでガバナンスしているか、それともグループ企業の自立自走を尊重し、各社でポリシー制定し、各社に任せるのか
②	情報漏えい対策事例	<ul style="list-style-type: none"> ・内部者による情報漏えい対策（社内ファイルサーバからの持出し等） ・特権ID管理・モニタリング ・各社対策のレベル感、Outbound監視
③	セキュリティ教育事例	<ul style="list-style-type: none"> ・事例＋コンテンツ紹介など ・セキュリティ管理プロセスやルールを如何に社員に教育し、啓蒙していくか。業務上の課題を持っている
④	スマホの利用事例	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットも対象にしてスマデバとしてはいかがでしょうか ・スマホを業務利用する場合のセキュリティ対策について知りたいです ・スマホ、タブレットの社内活用事例の意見交換がしたいです。BYODやワークスタイル変革などとも関係があり、各社さんがどの程度の意気込みで実施されているのか、意見交換したいです
⑤	社内の対応体制・組織（CSIRT）事例	<ul style="list-style-type: none"> ・CSIRTの運用事例をご教示いただける方がいらっしゃれば ・分科会A、B共通のテーマだと思います ・セキュリティ管理プロセスが遵守できていることを保証するため、チェックする担当の負荷を抑え、かつ遵守状況を向上していくためには、体制やプロセス、ルールをどう運用していくのが目指すべき姿なのか、業務上の課題を持っている
	その他 (マイナンバー)	<ul style="list-style-type: none"> ・来年10月には各人に配布されるマイナンバー。にもかかわらず、その実態が良く見渡せず、断片的な情報が報道されるばかり一緒に、情報を体系立てて整理しませんか？

■分科会【B】 各テーマにおける切り口

- ・「人」に絡むテーマが多い
 - 担い手の確保・育成
- ・セキュリティ人材の確保・育成(グループ会社も含めて)
- ・セキュア開発のできる人材の育成

- ・組織形態の違いによるグループ統制のあり方・グローバル対応
 - ホールディングス制のやりにくさ(インフラ整備・ルール適用)
 - ポリシー適用のレベル感
 - 共通インフラ(利益供与観点)
 - 企業グループにおけるネットワーク構成
 - 情報共有と法人間のリスク分断

- ・セキュリティ教育
 - 誰に対する教育か。経営層への教育・現地法人への教育・バカッター対策

- ・法制度への共通理解(個人情報保護法改正、マイナンバー)
 - 専門家の話を聞きたい、情報源はどこか
 - 企業・システムへの影響
 - サイバー攻撃に対する開示義務

- ・CSIRT
 - 情報漏えい対策と結びつけて議論するか

■分科会【B】 活動実施概要

番号	テーマ	事例紹介
1	スマホ・タブレット、BYOD	合宿（8月2日） <ul style="list-style-type: none"> ・「スマートフォンの利用について」 JFEシステムズ会部株式会社 ・「情報セキュリティの取組み・マルチデバイス活用事例について」 パナソニック株式会社
2	情報漏えい	合宿（8月2日） <ul style="list-style-type: none"> ・「システム部門が利用する特権ユーザーIDのモニタリングについて」 東京海上日動システムズ株式会社
		9月26日（金） <ul style="list-style-type: none"> ・「外部からの攻撃対策」 帝人株式会社 ・「インシデント対応紹介」 東日本旅客鉄道株式会社
3	教育・グループ統制	11月18日 <ul style="list-style-type: none"> ・「J-Powerにおける情報セキュリティ教育・啓蒙活動について」 電源開発株式会社 ・「グループ統制」 中部電力株式会社
4	マイナンバー、パーソナルデータ、個人情報保護法、SNS	1月16日（金） <ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報」「マイナンバー制度」 株式会社リクルートアドミニストレーション ・「SNS」 武田薬品工業株式会社

分科会議論において得られたこと

- ◇ 対策レベルを高くするに従い、対策を運用していく負担(業務負荷・コスト)が課題となる。
- ◇ セキュリティ対策にはユーザである従業員の理解が不可欠だが、統制感に対する抵抗意識を払拭するのに一苦労。
- ◇ ルールを縛りすぎると利用が進まない、決めなければ問い合わせが来るという悪循環のジレンマ。
- ◇ アラート解析においては、検知後のインシデント対応フローの整備が重要。
- ◇ 情報セキュリティ啓蒙・教育では、自社環境に即したコンテンツの教育効果は高いが、自社向けのコンテンツ作成に苦労している。
- ◇ グループ統制においては、規模・体力等に差のある現状の中、全体統制と個別の自立(自律)の間で最適解を模索している状況。
- ◇ 個人情報やマイナンバー制度においては、法律に基づいて企業側の対応が必要。

■分科会【B】 トピック

分科会議論において得られたこと

分科会を通じて共通していたのは・・・

分科会議論において得られたこと

- ◇ セキュリティには正解が無い(見出しにくい)中での
悩み山積
- ◇ そうは言っても各社ともより良い明日のため改善の
模索を続けている
- ◇ 「みんな悩んでいる」ことに気づけるだけでも少し
安心感が生まれる

■分科会【B】来年度に望むこと（テーマ編）

✓ 制御系システム

- ✓ IoT に対するセキュリティ対策は？
- ✓ システム系のコントロール外

✓ インシデント対応

- ✓ 今は対処療法...恒久対策や再発防止策の考え方、起こったことを想定してどう準備したらよいか？

✓ 内部不正対策

- ✓ 性悪説で考えるとどうなるか、インターネットの閲覧履歴、印刷履歴のチェック、メール等での持出し(〇〇「県」の数を自動カウント)
- ✓ 管理ツール:異常値をどうとらえるか、どこまでやるの？

✓ グローバル

- ✓ 海外のIT環境把握できず、国・地域のしきたりや現地採用、うまくいってる事例はないか、日本の文化を押し付けられない、翻訳サイトによる情報漏えい

✓ 個人情報・マイナンバー

- ✓ 人事給与系とシステム系の押し付け合い

■分科会【B】 来年度に望むこと（進め方）

- ✓ テーマの深耕
 - ✓ より多くの方に事例を紹介していただくこととした。反面、1つのテーマに集中して深掘するのも必要。
- ✓ 開催回数
 - ✓ 回数は今年度程度が適切。
 - ✓ 今年度の分科会は、スタンダードスタイル。（あまり遠くない場所で）サテライト分科会があってもよかった。
- ✓ 鉄の掟の安心感
 - ✓ 人目を気にせず議論したい（適当な会議室がない）
- ✓ アンケート／アウトプット
 - ✓ 社名を伏せた実施対策の星取表など。最初は○×△のみ、分科会の討議でブラッシュアップしていく。

メンバーの方々へ、感謝・感謝！

そして

これからもみんなでいっしょに悩みましょう♪



**2014年度 JUAS
企業リスクマネジメント研究会
Cチーム分科会**

活動まとめ

2015年2月24日



**Cチーム BCPアンケートご協力戴きまして
ありがとうございました！**

結果はメンバーの知見として活かしていきます。

BCPアンケート結果・傾向をざっくりまとめると

自然災害(震災)・パンデミック対策はあたりまえ!?

- なかには重大事件、テロ、戦争なども…

社員の安否確認手段は100%で“あります”。

- 安否確認サービス利用が半数以上

業務RTO=1～3日が最も多い。

- 本業・コアビジネスや支払業務・資金管理などを優先の傾向

情報シスのRTO=数時間～3日が多い。凄いこと。

BCP定例会議や訓練は意外に多く実施している。

- 年1回以上の定例会議は50%以上、訓練にいたっては80%以上

DRサイト有は50%

データ遠隔地保管は80%以上



分科会Cチーム

活動まとめ

Cチーム 活動方針

■ 敷居は低く！

■ 全員参加！

■ ここでの話・情報の扱いについて『秘密を厳守』

■ 人脈・友人作りましょう

Cチーム 検討テーマ(当初)

■ 事業継続／災害対策

■ データセンター

■ グローバル化

■ IT法規

■ 有事の際の運用

#クラウド、スマホ&SNSは全体会等で討議

- 各自の事例orテーマを発表戴き、メンバーにてディスカッション・研究を行う方法を採用します。
- プレゼンテーション手段はPPT、紙、その他、お好みで。
- 内容は自己紹介 & 事例テーマ。所用時間は20分を目安でお願いします。

Cチーム 分科会開催日程(1/2)

日程	分科会	全体会	開催場所	活動内容
6月23日(月)	13:30 ~17:30	無し	豊洲(IHI)	自己紹介 各自の発表事例・テーマ 事例発表 IHIデータセンター見学
8月1日(金) ~ 8月2日(土)	合宿		筑波	<事例発表> 「海外子会社含む情報セキュリティ取り組み事例」 「自動車リサイクル情報システム事例(実演含む)」 「NECグループのプライベートクラウドとBCP対策事例」
8月22日(金)	13:00 ~16:30	無し	相模原	NEC神奈川データセンター見学
9月26日(金)	13:30 ~15:30	15:30 ~18:00	JUAS 人形町	<事例発表> 「BCP テスト事例」 「事業継続計画事例紹介」
10月24(金)	11:45 ~18:30	無し	札幌	【災害時セカンダリサイト事例見学】 北海道電力データセンター NEC北海道データセンター

Cチーム 分科会開催日程(2/2)

日程	分科会	全体会	開催場所	活動内容
11月18日(火)	13:30 ~15:30	15:30 ~18:00	JUAS 人形町	IT内部統制・IT-BCP取り組み事例紹介 IT統制の効率化(IHIでの取り組み)
12月5日(金)	11:30 ~17:30	無し	京都 KRP 宝ネットワークシステム	セカンダリサイトDC見学 事業継続計画の事例紹介 グローバルIT推進PJ紹介
1月16日(金)	13:30 ~15:30	15:30 ~18:00	JUAS 人形町	BCP対策事例 システム部門対策本部立ち上げ) ビジネスユニットBCP対策事例
2月24日(火)	13:30 ~15:30	15:30 ~18:00	JUAS 人形町	コールセンター業務委託化に伴う拠点 構築 ~情報漏えい対策観点 3.11 東日本大震災直後の現地模様

メンバー全員にプレゼンを戴きました。(2月完了です。)

Cチーム 事例発表&現地視察

事業継続／災害対策テーマ



8件

グローバル化テーマ



2件

IT法規(内部統制)テーマ



2件

その他テーマ



3件

データセンター視察



プライマリセンター

IHI様(豊洲)、NEC(神奈川)



セカンダリーセンター

北海道電力様(札幌)

NEC(札幌)

大阪ガス様(京都)

第一回分科会の模様(6/23) IHI様の豊洲本社

08/22 NEC神奈川データセンター

10/25 すすきの > ×

札幌データセンターツアー > ○

分科会Cチーム in 京都 (12/04)

Cチーム 活動まとめ

グローバル化

- 少子化・国内需要低迷…… 海外出ていくしかない！

IT法規

- クラウドの時代…… 国際法令遵守いろいろ複雑に

事業継続／災害対策

- 我々が現役時代に“再び必ず”……コツコツ備えるべし

困難に直面した際、同じ境遇となる顔を思い出して。

研究会・分科会のよかったこと

- 色々な人より色々な話を聞ける。他社・色々な人との交流。
- 他業種の話聞いたこと。
- 自己紹介、人生経験など聞けて良かった。
- 自身と共通課題(他社事例)聞けて良かった。自社と他社の比較出来て良かった。

- データセンター等見学など色々行けたこと。実際に現地現物を触れたこと。
- 見聞きした事が身に付き、業務に役立っている。
- 自社報告の為に一年のまとめ、アンケート等OUTPUTがあって良かった。
- 社内の情シス部門と話が出来る様になった。(裏をとれる様になった)

- 同年代が多く、話易かった。
- ユルイこと。
- OBとの交流。
- 飲み会の交流
- リーダー働いた。職務?を全うした。

研究会・分科会の改善点

- ・女子が少ない。女性の参加望む。
- ・若手が欲しい。

- ・自分の仕事と100%マッチしない部分ある。自身のミッションとのズレ（分科会の縦割度が高い、他チームと横断的・柔軟な交流したい）
- ・予め各チームのテーマ解れば、そちらにも参加したい。
- ・一つのテーマに絞って深掘りも。成果物があっても良いのでは。コミュニケーションが上がるかも。

- ・開催曜日に統一感が無い。
- ・年間スケジュール。駄目な曜日とか事前アンケートあれば…。
- ・8月1日(夏季休暇・月初など繁忙期)の合宿ないだろ。
- ・遠方から参加する人の為にも9月、1月JUASセミナーの公式スケジュールと合わせるなどの工夫必要。
- ・年間スケジュール、メンバ間で調整しても良いかも…。

来年度の研究会・分科会に期待すること

- ・テーマ別に都度チームを分けるなどあっても良い。
(ずっと、同じテーマを1年も…という部分が課題)
- ・他チームが気になる。他チーム分科会の話も訊けたら…。
出せる情報あれば研究会で共有も。
- ・是非、各社へ訪問したい。見学したい。
- ・持ち込み企画などしたい。相談したい事を持ち寄る機会があれば…。



1年間 ありがとうございました！

楽しかったです！

Cチーム 聞きたいこと・発表できること(1/2)

会社名	読み方	氏名	興味のあること 聞きたいこと	発表テーマ (事例など)
株式会社NEC情報システムズ			クラウド BCP ISMS監査、その他監査	NECグループ社内 プライベートクラウド 災害対策事例
宝ネットワークシステム株式会社			グローバル対応	情報セキュリティ取り組み
ガートナージャパン株式会社				グローバル
住友林業株式会社				
株式会社 I H I			グローバル、クラウド	IT統制効率化等
株式会社シーエーシー				
株式会社NTTデータ				
塩野義製薬株式会社			グローバル化	グローバルセキュリティポリシー ITポリシー

Cチーム 聞きたいこと・発表できること(2/2)

会社名	読み方	氏名	興味のあること 聞きたいこと	発表テーマ (事例など)
日本出版販売株式会社			データセンター リスクマネジメント BCP事例	震災、有事の際の運用等
公益財団法人自動車リサイクル 促進センター				
インフォテック株式会社			BCPの各社実態 (投資等含め) グローバル(法規等も)	BCP事例(たたいてもらいたい)
カシオ計算機株式会社			IT統制 ISMS(資格等含め) セキュリティガバナンス強化 グローバル	BCP事例(たたいてもらいたい) 安否確認システム IT満足度向上活動
株式会社かんぽ生命保険			クラウド(利用基準) BCPの各社実態 セキュリティ関連	BCP案(パンデミック含む)
日本電気株式会社				BCP事例(ビジネスユニット連携)
有限責任監査法人トーマツ				

2014年度 まとめ

2014年度 まとめ

- ①狙い通り最終回まで高い参加率、満足度を達成
 - 最終回も参加率70%超（よかったです）
 - 全体会後の懇親会の参加率も毎回高かった
 - JUASでのアンケートでも、全体会・分科会ともに参加率・満足度の評価は非常に高かった

2014年度
J U A S 研究会
アンケート

2014年度 まとめ

②昨年度の課題への対応

→ベンダー以外のメジャーな専門家の公演

▶CSIRT研究家 山賀氏

▶デロイトトーマツリスクサービス 代表取締役社長 丸山氏

▶東京大学公共政策大学院客員教授 奥村先生

→全体会はテーマ幅が広く参加者によるフィット感の差

→各会でのディスカッション時間の確保

▶上記の狙いにフィットした参加者の評価は高かったが
もっと深い議論、分科会では研究といえる成果物必要
という意見も頂いた

→分科会開催場所のJUAS内での確保

▶分科会毎の小部屋が確保できると助かります。。。

《参考》 2013年度 まとめ

- ①狙い通り最終回まで高い参加率を達成
 - 最終回も参加率80%強（私も驚きました）
 - 全体会後の懇親会の参加率も毎回高かった

- ②分科会方式の導入で参加者の満足度も維持
 - アンケートでも分科会を軸にした他社事例の共有や人脈形成に価値ありの声
 - 自分の課題感にフィットした他社事例は役立つ

- ③一方、課題もあった（2014年度に取り組み）
 - ベンダー以外のメジャーな専門家の公演
 - 全体会はテーマ幅が広く参加者によるフィット感の差
 - 各会でのディスカッション時間の確保
 - 分科会開催場所のJUAS内での確保

2014年度 企業リスクマネジメント研究会 無事に完了いたしました

- ・ 参加頂いた皆さん
- ・ 幹事団にご協力頂いた皆さん
- ・ 運営を支援いただいたJUASのスタッフの
皆さん



ありがとうございました！